

(様式1)

記 載 例

推 薦 書

令和〇〇年〇月〇〇日

福岡県知事 〇〇 〇〇 殿

(推薦者)

住 所 〒812-8577
福岡市博多区東公園7番7号
名 称 〇〇電子工業(株)
代表者名 代表取締役社長 〇〇 〇〇

取消線・丸囲い・文字の削除をするなど
優秀・優良どちらかわかるようにすること。

別表「厚生労働省編職業部門、職業分類及び職種（例示）」より記載すること。
※表に被推薦者の職種名が無い場合は、職種名(1)まで表から選択後、職種名(2)に被推薦者の職種名を記入すること。

福岡県優秀技能者（~~優良技能者~~）表彰候補者

ふりがな 氏名		職業部門 職業分類	職種名（1）	職種名（2）
ぎのう しゅういち 技 能 秀 一		5-1 電気機械器具組立・修理の職業	(4) 電子応用機械器具組立工	①電子計算機組立工
提 出 書 類				提出チェック欄
1	推薦書（様式1）	1部		✓
2	調 書（様式2）	1部		✓
3	履歴書（様式3）	1部		✓
		※顔写真貼付（5cm×7.5cm、上半身、正面、脱帽で概ね6ヶ月以内のもの）		
4	住民票の写し	1部		✓
5	作品及び作業風景の写真（10枚以内）	1部		✓
		※写真データをA4版紙面に出力		
6	その他参考となる資料（任意）	1部		✓
7	表彰、資格・免許等の確認資料	各1部（記載順に並べて提出）		✓

※以上の書類について、すべての書類をA4出力又はA4版の紙面に貼付した上で、ホキス・パンチ等はせず、1つにクリップ止めとすること。インデックス等は付けないこと。
※様式1～3（このWordファイル）については、下記アドレスへ電子データ書類の添付漏れがないか必ずチェックすること。

宛先：ginou@pref.fukuoka.lg.jp（職業能力開発課技能振興係メールアドレス）

提出書類の内容についてお尋ねすることがあるので必ず担当者の連絡先を記載すること。

担当者

所 属	〇〇部〇〇課
担当者名	福岡 太郎
電話番号	092-643-3603
FAX番号	092-643-3605
メールアドレス	fukuoka-taro@denshi.co.jp

優秀技能者表彰・優良技能者表彰の別を記載すること。

記載例

別表「厚生労働省編職業部門、職業分類及び職種（例示）」より記載すること。
※表に被推薦者の職種名が無い場合は、職種名(1)まで表から選択後、職種名(2)に被推薦者の職種名を記入すること。

調書(1)

表彰の種類		職業部門 職業分類		職種名(1)			職種名(2)			
優秀技能者表彰		5-1 電気機械器具組立・修理の職業		(4) 電子応用機械器具組立工			① 電子計算機組立工			
ふりがな 氏名 (雅号等)	ぎのう しゅういち			職歴	在職期間			在職年月数		重複を除く 年月数
	技能 秀一									
生年月日	昭和 30 年 5 月 1 日 (67 歳) 男 女			△△電業(株)に電気工として就職 〇〇電子工業(株)〇〇工場に電子機器組立工として就職	自昭 48 至昭 50	4 3	1 31	2 0	13 0	51 年 8 月
	(令和 7 年 11 月 13 日現在の年齢)									
現住所		〒810-0001 福岡市中央区〇〇1 番 13 号 TEL 092-123-4567		同工場 第 2 ライン班長	自昭 63 至平 12	4 6	1 30	12 3		
就業地	事業所名	〇〇電子工業(株) 〇〇工場 事業所全体の 従業員数 (90 人)		同工場 主任	自平 12 至平 22	7 3	1 31	9 9		
	所在地	〒812-8577 福岡市博多区東公園 7 番 7 号 TEL 092-643-3603		同工場 製造係長 同工場 勤務(再雇用)	自平 22 至令 3 自令 3 至令 6	4 3 4 11	1 31 1 14	11 0 1 8		
現職については、令和 7 年 11 月 13 日をもって終期とすること。										
表彰		(1) 福岡県〇〇工業会会長表彰(昭和 61 年 10 月) 〇〇コンクール優秀賞 (2) 〇〇〇福岡県知事表彰(平成 5 年 4 月) 〇〇の推進貢献に対する表彰 (3) 科学技術庁長官表彰(平成 25 年 9 月) 〇〇用シリコン整流器の開発 産業界、知事、各大臣 表彰等を簡潔に記載。(コンクール、功 労等)			免許・資格等	免許・資格等名		取得年月		
						職業訓練指導員免許 (電気科) 第〇〇号 実用新案特許〇〇〇		平成 7 年 11 月 平成 9 年 4 月		
					免許・資格、特許、実用新案等について記載。					
高度熟練技能者	ものづくりマイスター	全技連マイスター	技能グランプリ入賞歴	技能五輪国際大会入賞歴	技能五輪全国大会入賞歴	技能士の名称		取得年月		
平成 年度認定	平成 年度認定	平成 年度認定	第 回大会	第 回大会	第 回大会	一級電気機器組立て 技能士 (〇-1-〇-40-…)		昭和 63 年 12 月		
業種	高度熟練技能者・ものづくりマイスター・全技連 マイスター認定、技能グランプリ・技能五輪入賞 歴があれば記載すること。					技能検定	国家検定の技能検定(131 職種)に ついて記載。			
職種										

※年齢及び在職期間は、令和 7 年 11 月 13 日現在とすること。
※職業部門、職種(1)、職種(2)は、別表「厚生労働省編職業部門、職業分類及び職種」より記載すること。

1 本人の技能が人と較べて、どの点がどれ程優れているか、その分野に詳しくない者が読んでも分かるように具体的に記載すること。
×非常に優れている → ○他と比較してどう優れているか数値等で表現
×短時間で加工できる → ○通常3時間かかる加工を1時間でできる等
×精度が向上した → ○標準公差±0mmが±0.1mmに向上した等
2 別添、資料参照という形式は避け、できるだけの中で分かりやすく説明すること。
3 難しい専門用語、特殊用語等には説明を付すこと。また、難しい漢字にはふりがなをふること。

記 載 例

調 書 (2)

・本人の有する技能による産業・社会等への功績・貢献について具体的に記入すること。(団体役員としての活動状況のみを記載しないこと)
・全国コンクール及び業界賞(主催者、参加人員、表彰人数等)、特許、実用新案等の具体的内容の説明もこの欄に記載すること。

氏 名 (2)			ふ り が な		ぎのう しゅういち	
氏 名			(雅 号 等)		技能 秀一	
卓 越 し た 技 能 の 概 要						
技 能 の 概 要		功 績 ・ 貢 献 の 概 要		後 進 指 導 育 成 の 概 要		現 役 性
半導体応用装置の製造に長年従事し、電子応用機械器具の組み立て全般に卓越した技能を有しているが、特に下記の技能に優れている。 1 シリコンスタック組立技能 ○○用シリコン整流器の製作においてはシリコンスタック組立技能が重要であるが、セレン整流スタック組立ては機械化が難しく、技能工の熟練した手作業によるところが大きい。 氏は、長年培った経験と卓越した技能により、シリコン固定加圧を微調整しながら絶妙な力加減でねじ締めを行うことが出来る。 2 束線製作技能 トランジスタインバータは、ノイズに弱く、その機能は束線製作と配線方法に大きく左右される。 氏は、束線製作に関し、シリコン整流器組立ての優れたノウハウをベースに応用と改善を重ねることにより、それまで1時間以上かかっていた工程を半分の30分程度に短縮する方法を考案した。 3 評価設備組立技能 電子機器組立に関する卓越した技能を用い、配電盤・制御盤などの機能評価設備を自ら考案・製作することが出来る。その評価設備を作動させるためのプログラムについても自ら作成することにより、様々なパターンの評価を可能とした。 また、氏はこれら評価設備の構造・性能を熟知しており、自ら修理・メンテナンスを行うことにより、常にベストな状態で稼働させることが出来る。		1 シリコン整流器の量産化・標準化に貢献 ○○用のシリコン整流器の試作・製作を長年担当し、平成○年にその量産化、標準化を行うための○○の改良を行った。その技能は、シリコン整流器の高い品質と信頼性の確保に繋がっており、現在、シリコン整流器製作時の標準となっている。 2 高速道路トンネルの改善に寄与 ○○高速道路○○トンネル集塵器の試作・製品化を担当し、トンネル内自動車排煙集塵機能の向上を図った。それにより、排煙公害を排除しトンネル内の環境改善及び安全通行に寄与するとともに、周囲の自然環境保護に果たした役割は大きい。 3 海外における技能伝承 半導体応用装置をはじめ集塵装置の現地据え付け作業において蓄積された技能を活かし、これまでに多くの途上国においてプラント建設に携わってきた。 特に○○国における○○建設において、現地スタッフを指導・育成しながら完成まで導き、10年後には現地スタッフだけで安定した品質と円滑な工事施工が可能となった。○○国は当時著しい成長期にあたり、現地への技能伝承を通じて同国の経済発展に果たした功績は大である。		1 電気・電子関係の国家検定実技指導員として後進の指導にあたり、これまでに約100名を合格させた他、○○技能競技大会において入賞者10名を輩出した。 2 技能五輪大会出場者の指導を通じ、工場よりこれまでに10人を全国大会に出場させ、1位入賞者5名を輩出した。また、○○年の世界大会では1位入賞を果たさせるなど高い指導力を発揮した。 3 県技能検定補佐員を○○○年、県技能検定委員を○○○年務め、技能検定制度の運営に大きく貢献した。 4 中堅・若手技能者の育成を図る上でその核となる監督者層の充実が必要と考え、社内において積極的に職業訓練指導員免許の取得を働きかけた。その結果、社内において10名の指導員を誕生させた。 5 ○○工場はもとより、関連企業の重要基本作業の推進に貢献し、7年間当社の技術指導員として指導にあたり、この間一級技能士50名を育てた。		本人は技術指導員として後進技能者の指導、現場管理に力を尽くしながらも、自ら電子機器組立工として、現場の組立作業に日々従事している。 就業時間○時間 1. 新規課題の検討及び電子機器の組立(○時間) 2. 指導方法や訓練内容の検討及び改善(○時間) 3. 指導員や選手への指導・教育(○時間)
(所在地又は住所) 〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号 (名称又は代表者氏名) ○○電子工業株式会社 代表取締役社長 ○○ ○○						
(推薦理由) 配電盤・制御盤組立を始めとする電子機器組立に関する技能に卓越し、○○用シリコン整流器の試作・製作、○○高速道路○○トンネル集塵器の試作・製品化を担当したほか、幾多の考案改善を行い、生産効率の増進、安全確保等に寄与するとともに、後進技能者の指導・育成に貢献した。以上のことから、推薦する。						
推薦者又は推薦団体及び推薦理由						
過去の推薦回数						
年度		年度		年度		
年度		年度		年度		
計 0 回						

(様式3)

履 歴 書

記 載 例

顔写真は電子データ
での貼り付けも可



〒810-0001
現住所 福岡市中央区〇〇1番13号

氏名 技能 秀一
生年月日 昭和30年5月1日

(学 歴)

昭和 48年 3月31日 福岡県立〇〇工業高等学校電気科 卒業

(職 歴)

自 昭和48年 4月 1日	〇〇電業(株)に電気工として就職
至 昭和50年 3月31日	
自 昭和50年 4月 1日	〇〇電子工業(株)〇〇工場に電子機器組立工として就職
至 昭和63年 3月31日	
自 昭和63年 4月 1日	同工場 第2ライン班長
至 平成12年 6月30日	
自 平成12年 7月 1日	同工場 主任
至 平成22年 3月31日	
自 平成22年 4月 1日	同工場 製造係長
至 令和 3年 3月31日	
自 令和 3年 4月 1日	同工場 勤務(再雇用)
至 現在	

(公 職 歴)

自 昭和19年11月15日	福岡県技能検定委員(〇〇職種)
至 昭和24年 3月31日	

(団 体 歴)

自 平成22年 4月 1日	日本〇〇工業会 福岡県支部長
至 平成25年 3月31日	

(賞 罰)

昭和61年10月31日	科学技術庁長官賞
平成 5年 4月 4日	〇〇福岡県知事表彰
平成25年 9月15日	福岡県〇〇工業会会長表彰